

キルギス語における副動詞の副詞的用法

アクマタリエワ ジャクシルク
 (日本学術振興会特別研究員／新潟大学)

1. はじめに

チュルク諸語の副動詞は、動詞の屈折形式の一つで、人称や数、時制などを示さず、述語で用いられる用法がないものである。Haspelmath (1995) の定義では、副詞的な従属節の述語としての機能が重視されている一方で、Nedjalkov (1995) の定義では、副詞句としての修飾機能が重視されている。これらの研究を踏まえて、江畑 (2023) は、副動詞の用法として「節連鎖」「副詞句」「複雑述語」という 3 つに分類することを提案している。本発表はこの分類のうち、キルギス語を例に副動詞から成り立つ「副詞句」に着目し、その副詞的な用法について考察を試みる。

キルギス語の副動詞は、副詞的にも用いられることが既に指摘されている (Tursunov 1958: 4-5; Kudaybergenov 1987: 302)。Kudaybergenov (1987: 302) は、「副動詞は、意味と機能においては副詞に最も近い。これは副詞のクラスへかなり大規模に移行し、更に副詞から後置詞への二次的な移行につながった」と指摘している。例として、*kayra* 「再び」、*košo* 「一緒に」や、*(-ga) karata* 「～に向かって」、*(-dan) körö* 「～より」、などのような副詞や後置詞があげられている。従来の先行研究は、単に副動詞が他の品詞への移り変わることや副詞句としての用法の有無のみに着目するとどまり、副動詞から成り立った副詞句や後置詞句などを扱う具体的な研究が見当たらないのが現状である。

2. 調査方法

本発表にあたり、Krippes (1998) に adverb 「副詞」として記載されている副動詞の形式をとる副詞 (句) をすべて収集した。その結果は表 1 であり、最も多く使用される形の副詞 (句) は (2) *-lp* 継起副動詞形で全 53 個である。その次に多いのは (3) *-BAy* 否定副動詞形 (*-lp* 継起副動詞の否定形は *-A/-y* 同時副動詞の否定形に合流して同形になる) で全 20 個である。本発表で示す用例は基本的に Krippes (1998) から取るが、補助的に発表者自身による作例で補うこともある。なお、本発表のグロス付与の詳細ルールに関しては、概ね江畑・Akmatalieva (2022: 8-10) の方針に従うものとする。

[表 1] Krippes (1998) で adverb と記載のある副動詞形

	副動詞(グロス表記)	形式	出現数
(1)	同時副動詞 (SML)	<i>-A/-y</i>	14
(2)	継起副動詞 (SEQ)	<i>-lp</i>	53
(3)	否定副動詞 (NEG. SML)	<i>-BAy</i>	20
合計			87

3. 考察

本調査で収集した用例を元に副動詞が「副詞句」として認められる文法的な条件と、その副詞的な用法について考えてみる。

3.1. 副詞句として認められる文法的な条件

まず、「副詞句」と「節連鎖」および「複雑述語の要素」の区別から確認しておこう。

- (1-1) *Alar armiya-ni küčtö-p, soguš-ka dayardan-uu-da.* [V-SEQ 節]
彼ら 軍隊-ACC 強める-SEQ 戦争-DAT 備える-VN-LOC.3
「彼らは軍隊を強化して、戦争に備えているところだ。」
- (1-2) *Biz armiya-ni küčtö-p jat-a-biz.* [V-SEQ 補助動詞]
私達 軍隊-ACC 強める-SEQ AUX-PRES-1PL
「我々は軍隊を強化しています。」
- (1-3) *Milicioner-ler ani küčtö-p jetele-p ket-iš-ti.* [V-SEQ 動詞句]
警官-PL 彼.ACC 強める-SEQ 連れる-SEQ 行く-RECP-PST.3
「警官たちは彼を強引に連れていった。」
- (1-4) *Aga küčtö-p tamak ber-di.* [V-SEQ 動詞句]
彼.DAT 強める-SEQ 食事 与える-PST.5
「彼に強引に食事を与えた。」

これらのいずれの文においても、*küčtö-p* が使われているものの、文中での機能は異なる。例えば、(1-1) は、主語を共有する、それぞれ独立した節の連続を副動詞がつなぐ節連鎖の用法である。また (1-2) は、後続の動詞とセットとなっており、複雑述語を形成している。(1-3) の場合、*küčtö-p* に動詞が後続しているが、セットになっているわけではない。つまり、この文の場合、文全体から *küčtö-p* を切り取ってしまったとしても、文として成立できる。(1-4) は後ろの動詞句を修飾しているので、副詞であるということが最も分かりやすい。以下、副詞句としての副動詞のふるまいをさらに検証してみる。

①副詞句は語順の変更が可能である。例えば、(2-1)、(2-2)、(2-3) のように位置を変えたり、副詞句を取り除いたりすることができる。

- (2-1) *men činda-p iyla-di-m*
私 本気にする-SEQ 泣く-PST-1SG
「私は本気で泣いた。」
- (2-2) *činda-p men iyla-di-m*
本気にする-SEQ 私 泣く-PST-1SG
「本気で私は泣いた。」

- (2-3) *men iyla-dī-m*
私 泣く -PST-1SG
「私は泣いた。」

②主体の具体的な動作を表さないことがある。

- (3-1) *Ene tör-gö öt-ö ber-ijiz.*
母 客間-DAT 通る-SML 与える-IMP.2SG
「おばあちゃん、客間に**あがって**（**通って**）ください。」

- (3-2) *Öt-ö maanilüü masele.*
通る-SML 大切な 問題
「**とても**大切な問題だ。」

(3-1) は、主体の動作 *öt-*「通る」を表すのに対して、(3-2) の *öt-ö* は副動詞形ではあるが、具体的な動作を表すのではなく、後ろの形容詞を修飾して、その程度が高いことを表している。(3-2) の場合、*öt-ö* があってもなくても、文として成立する。

③形が固定しているものがある。例えば、(4-1) の *aya-ba-y* 「とても（惜しまず）」は、(4-2) のように肯定副動詞形に変えると、副詞句にはならず、非文になってしまう。

- (4-1) *Aya-ba-y apam-dī sagin-dī-m.*
惜しむ-NEG-SML 母-ACC 恋しく思う -PST-1SG
「**とても（惜しまず）**母が恋しい。」

- (4-2) **Aya-p/-y apam-dī sagin-dī-m.*
惜しむ-SEQ/SML 母-ACC 恋しく思う -PST-1SG
（「**惜しんで**母が恋しい。」）

Krippes (1998) から抽出した否定副動詞形 20 個のいずれも、肯定副動詞に変えると、(4-2) のように副詞句としては使えない。ただし、(4-3) のような節連鎖用法では肯定副動詞も用いられるので、肯定副動詞形が存在しないわけではない。しかしながら、副詞句としての否定副動詞形の多くは形が固定しており、肯定副動詞形では副詞句として用いられない場合がほとんどである。

- (4-3) *Apa-m-dī aya-p, dali-si-n ušala-p ber-di-m.*
母-POSS.1SG-ACC 惜しむ-SEQ 背中-POSS.3-ACC 揉む-SEQ 与える-PST-1SG
「お母さんを**気遣って**、背中をさすってあげた。」

なお、形が固定しているものには、(5) のように副動詞が重複して現れることがある。

- (5) *Büt baar-ī-n tök-pö-y čač-pa-y tüšündür-üp ber-e-biz.*
全て 全部-POSS.3-ACC こぼす-NEG-SML 散かす-NEG-SML 説明する-SEQ 与える-PRES-1PL
「私たちは、全てを**こぼさず省略せず（漏らさず）**説明してあげる。」

3.2. 副動詞の副詞的用法

副詞句として使用される場合、基本的に動きの様態を表すことがほとんどである。

①人や物事の動きの激しさや強さを表す。Krippes (1998) には、*küctöp* 「強めて、強引に」、*dikildep* 「一生懸命に」などがあがっている。

- (6) *Kanıbek dikilde-p çurka-p bar-at-ti.*
 PSN 懸命にする-SEQ 走る-SEQ 行く-AUX-PST.3
 「カニベクは**一生懸命**に走っていた。」

②ある事柄の成立の在り方を限定して特徴づける。

- (7) *dokumentaldik material-dar atayıla-p kotor-ul-gan jok*
 ドキュメンタリーの 資料-PL わざとする-SEQ 訳す-PASS-PTCP ない
 「ドキュメンタリー資料は**わざと**翻訳されなかった。」

③動きの経過の速さ、或いは遅さを表す。

- (8) (省略) *akırında-p jön-gö salın-a-t dep oylo-y-m*
 ゆっくりする-SEQ 正-DAT 建てられる-PRES-3 QUOT 思う-PRES-1SG
 「**ゆっくり**と改善されると思う。」

- (9) *kızmat-tan ertele-p kayt-a-t*
 仕事-ABL 早める-SEQ 戻る-PRES-3
 「彼は仕事から**早く**帰る。」

④動きの質に関して、主観的・評価的なとらえ方をする副詞句が見られる。Krippes (1998) には *jakşilap* 「良く」、*durustap* 「正しく」、*tüzüktöp* 「真面に、正確に」があがっている。

- (10) *Kitep-ti jakşıla-p oku-gun.*
 本-ACC 良くする-SEQ 読む-IMP.2SG
 「本を**よく**読んでいなさい。」

- (11) *marşrut-tu tüzüktö-p uyuştur-a al-ba-gan aviakompaniya*
 ルート-ACC 正す-SEQ 編成する-SML AUX-NEG-PTCP 航空会社
 「ルートを**真面**に編成できない航空会社だ」

⑤なんらかの量や数を限定する。*toltur-a* 「盛りだくさん」、*çakala-p* 「いっぱい」などがあげられる。

- (12) *Tabak-ka toltur-a tamak al-ip kel-di.*
 大皿-DAT 盛る-SML 料理 持つ-SEQ 来る-PST.3
 「大皿に**盛りだくさん**料理を持ってきた。」

⑥何らかの音や声の様子や質を特徴づけて修飾する。日本語の、いわゆる擬声語・擬態語のような語群である。Krippes (1998) では *jalp et-ip* 「パツとなつて」、*şigirat-ip* 「パタパタと」などがあがっている。

- (13) (省略) *jalp et-ip öč-üp kal-iš-i mümkin*
 パツとする-SEQ 消える-SEQ AUX-VN-POSS.3 かもしれない
 「(電気が) パツと消えてしまうかもしれない。」

⑦指示詞と *et*-「する」の組み合わせが縮約された動詞の副動詞形が副詞句としてふるまうことがある。Krippes (1998) に *antip* 「ああして」、*tigintip* 「そうして」は載っているが、*mintip* 「こうして」、*ušintip* 「このようにして」は載っていない。

- (14) *Ant-ip oylo-bo-gula.*
 ああする-SEQ 思う-NEG-IMP.2PL
 「ああいう風に思わないで。」

⑧3 *kün* 「3日」、10 *jil* 「10年」などの時を表す語が接尾辞-*LA*によって動詞化したものが副動詞形で用いられる場合、単なる時間を表すのではなく、ある事態がいかにある時間を占めていたかという特性を表現している。Krippes (1998)でも *kündöp* 「日中、～日の間」、*jildap* 「～年の間」が副詞句として載せられている。

- (15) *3 kündöp-p kezek küt-üü-gö majbur bol-uu-da.*
 3日する-SEQ 順番 待つ-VN-DAT 必要 なる-VN-LOC.3
 「3日間、順番を待たないといけなくなった。」

3.3. 副動詞が副詞句を形成する動詞の種類

ここでは、Krippes (1998) から収集した、副動詞が副詞句を形成する動詞の種類に着目する。

まず、-*A/y*形で見れる副動詞形の副詞句は14個だったが、そのほとんどが動作動詞で、他動詞の方が多く現れる。

他動詞- <i>A/y</i>	<i>aylandir-</i> 「回す」、 <i>kayri-</i> 「戻す」、 <i>sindir-</i> 「壊す」、 <i>tohtur-</i> 「盛る」、など
自動詞- <i>A/y</i>	<i>kayt-</i> 「戻る」、 <i>bar-</i> 「行く」

次に、-*Ip*形で見れる副詞句は53個だったが、こちらも主に動作動詞である。-*Ip*形の場合、名詞からの派生動詞の副動詞形が、副詞句をなしているものがみられる。このことは先行研究でも言及されている (Tursunov1958: 11; Kudaybergenov 1987: 198)。

他動詞- <i>Ip</i>	<i>sana-</i> 「数える」、 <i>takta-</i> 「確かめる」、 <i>tüzüktö-</i> 「正す」、など
自動詞- <i>Ip</i>	<i>šaš-</i> 「急ぐ」、 <i>angira-</i> 「空く」、 <i>jalp et-</i> 「パーとなる」、など
名詞- <i>LA-p</i>	<i>jakši-la-</i> 「良くする」、 <i>čaka-la-</i> 「いっぱいにする」、など

最後に、-*BAy*形で見れる副詞句をみると、他動詞も自動詞も両方が見られる。

他動詞- <i>BAy</i>	<i>aya-</i> 「惜しむ」、 <i>de-</i> 「言う」、 <i>uzart-</i> 「延ばす」、 <i>ilgert-</i> 「早める」、など
自動詞- <i>BAy</i>	<i>čimira-</i> 「我慢する」、 <i>kamira-</i> 「心配する」、 <i>talik-</i> 「疲れる」、など

なお、今回のデータからは、*-Ip*形と*-BAy*形を伴う副詞句の場合、次のように格や他の文の成分（名詞句）と複合的に副詞句を構成しているものが目立つ。

<i>-Ip</i> 形	<i>kiši kol-duu bol-up</i> 人 手-有る なる-SEQ	「他殺で（不自然な原因で）」
	<i>üzön-gü kagiš-ip</i> 鏡-ACC ぶつかる-SEQ	「長年一緒に」
<i>-BAy</i> 形	<i>bet-i kizar-ba-y</i> 顔-POSS.3 赤面する-NEG-SML	「赤面せず」
	<i>dayin-i-n taptir-ba-y</i> 詳細-POSS.3-ACC 見つかる-NEG-SML	「詳細見つからず」
	<i>kirpik köz-ü-n kak-pa-y</i> まつ毛 目-POSS.3-ACC 閉じる-NEG-SML	「まつ毛を閉じず（寝ず）」
	<i>ooz-u murdu kışiy-ba-y</i> 口-POSS.3 鼻-POSS.3 曲がる-NEG-SML	「口も鼻も曲がらずに（恥を知らず）」
	<i>jer-ge suu-ga juguz-ba-y</i> 土-DAT 水-DAT 触れさせる-NEG-SML	「土にも水にも触れさせず （純粹で潔白な方法で）」

これらは形が固定しており、むしろ慣用句に近い。いずれにしても、このように、副動詞から成り立った副詞句はキルギス語においては幅広い機能をもっていると言える。

参考文献

- Haspelmath, Martin and Ekkehard König (eds.) (1995) *Converbs in cross linguistic perspective*. Berlin/New York: Mouton.
- Kudaybergenov, Sarıbay. (1987) Glagol. In: Zaxarova, O.V. (ed.), *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazıka I: Fonetika i morfologiya*. 207-302. Frunze: Ilim
- Kudaybergenov, Sarıbay. (1987) Mestoimenie. In: Zaxarova, O.V. (ed.), *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazıka I: Fonetika i morfologiya*. 184-198. Frunze: Ilim.
- Krippes, Karl A. (1998) *Kyrgyz-English Dictionary*. Dunwoody Press.
- Nedjalkov, Vladimir P. (1995) Some typological parameters of converbs. Martin Haspelmath and König Ekkehard (eds.) *Converbs in cross-linguistic perspective*. 97-136. Berlin/New York: Mouton.
- Tursunov, Askar. (1958) *Deepričastiya v sovremennom kirgizskom yazıke*. 4-21. Frunze.
- 江畑 冬生・Akmatalieva Jakshylyk (2022) 『サハ語・トゥバ語・キルギス語の文法対照』。新潟大学人文学部・アジア連携研究センター。
- 江畑 冬生 (2023) 「サハ語とトゥバ語の副動詞の用法概観」『北東アジア諸言語の記述と対照 3』 109-128. 新潟大学人文学部。

謝辞：本研究は、特別研究員奨励費研究課題「キルギス語とアルタイ語の対照研究：補助動詞の用法を中心に」の成果の一部である（研究課題 22KJ1442, 21H04346）。2022 年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会（2023 年 3 月 29 日、京都大学羽田記念館）における発表内容に大幅な加筆、修正を加え発表させたものである。コメントをくださったすべての方々に感謝申し上げます。